

■交通計画の進め方

1. 交通計画の基本姿勢

■地域の实情・特性

- ・総合運動公園周辺の宮環交差点において、平日でも渋滞が発生する箇所があり、高校野球等大会開催時には、公園周辺の道路や駐車場でも渋滞が発生している。
- ・最寄り駅として、東武宇都宮線西川田駅やJR宇都宮線雀宮駅があるとともに、関東自動車による宇都宮市内から西川田方面へのバス路線も充実しており、公共交通の利便性が高い。

■過年度に実施した交通シミュレーションの結果（H20 実施）

〔条 件〕

- ・元競馬場に陸上競技場兼サッカー場、体育館等の運動施設を集約して設置し、元運転免許試験場等に駐車場を配置
- ・来園者数は25,000人、駐車場総数は3,160台

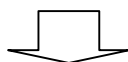
〔結 果〕

- ・来場時、退場時ともに渋滞が発生

■要件の整理

- ・その後の周辺道路整備に伴う道路ネットワークの変化
- ・総合スポーツゾーンの施設の配置計画 等

これらも踏まえ、



- ・公共交通の活用とバスの定時性確保
⇒ 充実した公共交通を最大限に活用し、必要に応じて駐車場の利用制限を検討 等
- ・生活地内での渋滞発生回避
⇒ 自家用車両による生活道路への進入抑制を検討 等
- ・効果的な道路整備
⇒ 交差点改良や歩行者自転車に配慮した道路整備を検討 等

2. 交通円滑化対策の検討

○交通シミュレーションの実施

- ・来園手段は、公共交通へ転換することを前提に、基本条件（来園者数、駐車場の配置・規模、道路ネットワーク、交通手段別輸送量等）を設定し、交通シミュレーションを実施
- ・渋滞箇所の抽出と渋滞原因の分析

○交通円滑化対策の検討

- ・公共交通の活用、シャトルバス運行、交通規制、歩行者自転車動線の確保、道路整備等を検討